

(様式第9)

名大医総第138号
平成19年10月4日

厚生労働大臣 殿

名古屋大学医学部附属病院
松尾清

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告しま
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	30人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	241人	237人	424.5人	看護業務補助	18人	診療エックス線技師	人
歯科医師	6人	15人	18.0人	理学療法士	9人	臨床検査技師	62人
薬剤師	42人	10人	49.5人	作業療法士	5人	衛生検査技師	2人
保健師	人	人	人	視能訓練士	4人	その他	人
助産師	15人	人	15.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	711人	16人	723.0人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	3人	1人	3.7人	栄養士	人	その他の技術員	2人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	143人
管理栄養士	4人	人	4.0人	診療放射線技師	47人	その他の職員	7人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	794.0人	14.3人	808.3人
1日当たり平均外来患者数	2,097.5人	71.0人	2,168.5人
1日当たり平均調剤数			1,025.5剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	69人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	(有)・無	1人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・無	27人
・顎顔面補綴	有・無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
・歯周組織再生誘導法	有・無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
強度変調放射線治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
人工中耳	有・無	人
歯周組織再生誘導法	有・無	人
抗がん剤感受性試験	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
生体部分肺移植術	有・無	人
活性化血小板の検出	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	39人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	24人
・多発性硬化症	43人	・ウェグナー肉芽腫症	2人
・重症筋無力症	66人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	50人
・全身性エリテマトーデス	180人	・多系統萎縮症	23人
・スモン	8人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	72人	・膿疱性乾癬	3人
・サルコイドーシス	73人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	38人	・原発性胆汁性肝硬変	31人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	173人	・重症急性膵炎	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	70人	・特発性大腿骨頭壊死症	81人
・結節性動脈周囲炎	10人	・混合性結合組織病	7人
・潰瘍性大腸炎	238人	・原発性免疫不全症候群	9人
・大動脈炎症候群	39人	・特発性間質性肺炎	5人
・ピュルガー病	42人	・網膜色素変性症	33人
・天疱瘡	13人	・プリオン病	4人
・脊髄小脳変性症	30人	・原発性肺高血圧症	1人
・クローン病	157人	・神経線維腫症	23人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	58人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	4人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	182人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	8人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	21人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	4人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	14回	
剖検の状況	剖検症例数39例	剖検率10.2%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
テロシンキナーゼ阻害剤の至適併用療法を予測するサロゲートマーカーの確立	清井 仁	難治感染症部	4,700,000	補委 文部科学省
DISC1結合蛋白を標的とした統合失調症の病態研究	尾崎 紀夫	精神科	4,400,000	補委 文部科学省
アストロサイト・オリゴデンドロサイト関連遺伝子を標的とした精神障害の病態研究	尾崎 紀夫	精神科	3,000,000	補委 文部科学省
精神行動障害の発症過程における神経グリア細胞の機能的役割	鍋島 俊隆	薬剤部	3,000,000	補委 文部科学省
前駆細胞移植による血管再生療法の分子基盤探索と新規臨床応用に向けた展開研究	室原 豊明	循環器内科	7,700,000	補委 日本学術振興会
尿細管間質障害の新たなバイオマーカー及び治療標的としてのミッドカインの基礎的研究	松尾 清一	腎臓内科	10,400,000	補委 日本学術振興会
眼皮膚白皮症を呈する疾患の病態および病因遺伝子産物の機能解析	鈴木 民夫	皮膚科	6,576,290	補委 日本学術振興会
siRNAを用いた新しい遺伝子治療戦略—炎症制御による血管内膜肥厚抑制効果—	古森 公浩	血管外科	8,000,000	補委 日本学術振興会
脳腫瘍高発現分子合成ペプチドによる賦活化樹状細胞を用いた標的細胞療法の臨床応用	若林 俊彦	遺伝子・再生医療センター	10,400,000	補委 日本学術振興会
イメージング機能付ナノデバイスリボソームを用いた分子医療開発と臨床試験への展望	水野 正明	脳神経外科	9,600,000	補委 日本学術振興会
発達・加齢・遺伝性網脈絡膜疾患の病態解明と新しい治療	寺崎 浩子	眼科	10,300,000	補委 日本学術振興会
組織工学的手法をくみこんだ骨延長法による下顎骨再建	日比 英晴	遺伝子・再生医療センター	2,800,000	補委 日本学術振興会
アジア系人種における腎機能評価のための国際学術調査研究	松尾 清一	腎臓内科	6,400,000	補委 日本学術振興会
情動とストレス反応性の脳科学	飯高 哲也	精神科	1,500,000	補委 日本学術振興会
日本の医学部教育における6年間統合型行動科学教育プログラムの開発に関する研究	鈴木 富雄	総合診療部	1,300,000	補委 日本学術振興会
悪性腫瘍、神経変性疾患でのスフィンゴシンキナーゼの発現異常の解析と病態での意義	村手 隆	検査部	2,200,000	補委 日本学術振興会
気管支喘息の遺伝子診断のための基礎的研究	川部 勤	検査部	2,000,000	補委 日本学術振興会
共焦点内視鏡を用いた胃病変のリアルタイム組織診断と背景粘膜に関する研究	丹羽 康正	消化器内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
慢性肝炎発症におけるイオン・水チャネルの役割	洪 繁	消化器内科	2,200,000	補委 日本学術振興会
PPAR γ アゴニストおよびMMP阻害薬による心筋線維化抑制作用と不整脈抑制作用	因田 森也	循環器内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
アマメンバ抽出物を用いた閉塞性細気管支炎発症機序の解明	今泉 和良	呼吸器内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
心筋梗塞、脳梗塞におけるストレス応答性向血栓遺伝子の発現機構の解明とその制御	山本 晃士	輸血部	2,000,000	補委 日本学術振興会
白血病の発症、進展に及ぼすNucleop h osmin 遺伝子変異の分子機構の解析	清井 仁	難治感染症部	2,100,000	補委 日本学術振興会

悪性リンパ腫におけるマイクロRNAの発現意義	鈴木 律朗	造血細胞移植情報管理学 寄附講座	2,000,000	補委	日本学術振興会
小児期EBウイルス関連疾患におけるEBNA1 特異的細胞性免疫応答の研究	伊藤 嘉規	小児科	1,800,000	補委	日本学術振興会
膵胆管の診断における16列マルチスライスCTの三次元画像の最適化と有用性の評価	伊藤 茂樹	放射線科	2,100,000	補委	日本学術振興会
熱ショックタンパクをターゲットとした悪性腫瘍に対する温熱治療の研究	菊森 豊根	画像情報外科学寄附講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
癌幹細胞を標的としたヒト乳癌治療法の開発	小田 高司	乳腺・内分泌外科	1,900,000	補委	日本学術振興会
胆管閉塞時にみられるバイエル板萎縮のメカニズムについて	横山 幸浩	乳腺・内分泌外科	1,800,000	補委	日本学術振興会
マクロとミクロから見た急性尿管管壊死の病態解明、治療	山本 徳則	泌尿器科	2,500,000	補委	日本学術振興会
子宮体癌の新規予後規定分子IDOの同定・機能解析に基づくオーダーメイド治療の開発	井篁 一彦	産婦人科	1,700,000	補委	日本学術振興会
睡眠時の鼻呼吸閉塞に対する病態生理的解明 - nasal cycle の検討 -	中田 誠一	耳鼻咽喉科	2,700,000	補委	日本学術振興会
網膜色素変性の中型モデル動物(ロドプシン遺伝子変異ウサギ) 作出と視機能解析	近藤 峰生	眼科	2,200,000	補委	日本学術振興会
肝細胞増殖因子(HGF)によるポリグルタミン病の治療開発	足立 弘明	神経内科	2,000,000	補委	文部科学省
器質的および機能的胃腸症における胃の痛みのメカニズムの解析	尾崎 紀之	解剖学	2,900,000	補委	日本学術振興会
化学発癌が疑われるインドの胆嚢癌の発生機序の解明と早期診断に関する国際共同研究	小田 高司	乳腺・内分泌外科	3,300,000	補委	日本学術振興会
詳細な人体解剖情報を加えた、新しい筋骨格コンピュータモデルによる関節運動の解析	木山 喬博	理学療法	3,300,000	補委	文部科学省
遺伝改変マウスを用いた、新規アクチン結合蛋白とそのファミリーの解析	浅井 直也	分子病理学	1,800,000	補委	文部科学省
組織心理学的アプローチによる医療リスク発生要因の解明	山内 一信	医療管理部	1,600,000	補委	文部科学省
臨床判断能力を涵養する外来診療教育プログラム開発	伴 信太郎	総合診療部	1,400,000	補委	文部科学省
HSP90阻害剤、17-AAGによる神経変性疾患の分子標的治療	祖父江 元	神経内科	3,300,000	補委	文部科学省
アールエヌエー編集障害により発症する遺伝性対側性色素異常症の病態解析	鈴木 民夫	皮膚科	1,600,000	補委	文部科学省
インシリコ分子設計法によるアポトーシス抑制因子を標的とした脳腫瘍分子治療薬の開発	丸田 英晴	脳神経外科	1,700,000	補委	文部科学省
Midkine RNA interference 関節内投与による関節炎治療	石黒 直樹	整形外科	1,400,000	補委	文部科学省
軸索伸長速度を調整するマスター遺伝子の決定とそれを活用した軸索再生促進	平田 仁	手の外科	1,800,000	補委	文部科学省
骨粗鬆症に対する幹細胞を用いたアンチエイジング治療法の開発	山田 陽一	遺伝子・再生医療センター	1,600,000	補委	文部科学省
上皮間葉転換に基づく細胞膜型ペプチド分解酵素を分子標的とした卵巣癌腹膜転移の抑制	梶山 広明	産婦人科	13,500,000	補委	文部科学省
白血病関連遺伝子産物のPMLアセチル化の意義	早川 文彦	血液内科	1,900,000	補委	文部科学省
DFS70/LEDGF抗原の表皮細胞と皮膚疾患における役割について	杉浦 一充	皮膚科	2,100,000	補委	文部科学省
イノシン特異的mRNA切断によるADAR1 基質同定と遺伝性対側性色素異常症病態解明	河野 通浩	皮膚科	2,300,000	補委	文部科学省

悪性胸膜中皮腫の細胞生物学的解析と新規治療戦略の開発	宇佐美 範恭	呼吸器外科	1,700,000	補委	文部科学省
外科的血管吻合に対する薬剤溶出性縫合糸、薬剤溶出性シートの開発及び基礎的研究	横手 淳	心臓外科	2,000,000	補委	文部科学省
Nucleofectionによる神経栄養因子遺伝子導入骨髄細胞を用いた神経再生	酒井 義人	整形外科	1,000,000	補委	文部科学省
幹細胞移植モザイク作成による上肢先天異常の治療	建部 将広	手の外科	2,500,000	補委	文部科学省
磁性ナノ粒子と磁力を用いた再生医療のための培養組織移植システムの開発	浅見 哲	眼科	2,100,000	補委	文部科学省
加齢黄斑変性に対する光線力学療法における機能形態的解析	石川 浩平	眼科	1,600,000	補委	文部科学省
大網の創傷治癒における役割	八木 俊路朗	形成外科	2,100,000	補委	文部科学省
口腔粘膜由来線維芽細胞を用いた細胞治療のための基礎的研究	蛭沢 克己	歯科口腔外科	1,900,000	補委	文部科学省
ヒト胎盤形成における糖転移酵素GnT-Vの機能と絨毛外栄養膜細胞浸潤機構の解明	山本 英子	産婦人科	1,400,000	補委	文部科学省
糖尿病性腎症に対する新規創薬ターゲットの同定：網羅的Pathway・転写機構解析	安田 宜成	腎臓内科	1,380,000	補委	文部科学省
各種高脂血症治療薬の糖尿病性心血管病進展予防効果の総合的検討	井口 昭久	老年科	7,412,000	補委	厚生労働科学研究費
各種高脂血症治療薬の糖尿病性心血管病進展予防効果の総合的検討	井口 昭久	老年科	11,000,000	補委	厚生労働科学研究費
生体の持つストレス応答機能を利用した老化制御、予防研究	磯部 健一	免疫学	12,022,000	補委	厚生労働科学研究費
再生医療の実用化の安全性・効率性に関する基盤技術の整備	上田 実	歯科口腔外科	16,000,000	補委	厚生労働科学研究費
医師主導型治験の実施に関する研究〔アルガトロバン〕	上田 裕一	心臓外科	2,000,000	補委	厚生労働科学研究費
終板アセチルコリンエステラーゼ欠損症、及び、他の細胞外マトリックス分子欠損症におけるタンパク標的療法の高齢者の終末期ケアに関する研究－各施設における標準的終末期ケアの確立に向けて	大野 欽司	神経遺伝情報学	16,000,000	補委	厚生労働科学研究費
老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発	葛谷 雅文	老年科	17,495,000	補委	厚生労働科学研究費
老化に伴う神経変性疾患の長期縦断疫学研究：ALSについて	後藤 百万	泌尿器科	4,480,000	補委	厚生労働科学研究費
筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究	祖父江 元	神経内科	11,375,000	補委	厚生労働科学研究費
筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究	祖父江 元	神経内科	18,000,000	補委	厚生労働科学研究費
球脊髄性筋萎縮症に対する酢酸リユープロレリンの効果に関する研究	祖父江 元	神経内科	122,422,000	補委	厚生労働科学研究費
運動ニューロン変性に関わる分子の同定と病態抑制治療法の開発	祖父江 元	神経内科	38,462,000	補委	厚生労働科学研究費
治験の実施に関する研究〔酢酸リユープロレリン〕	祖父江 元	神経内科	5,500,000	補委	厚生労働科学研究費
大量出血時の止血能の評価と輸血療法に関する研究	高松 純樹	輸血部	4,900,000	補委	厚生労働科学研究費
医療の安全性及び安全対策の評価指標の開発と有効性の検証	武澤 純	救急・集中治療医学	4,000,000	補委	厚生労働科学研究費
依存性薬物および未規制薬物による神経毒性と精神病の発現機序に関する研究	鍋島 俊隆	薬剤部	1,500,000	補委	厚生労働科学研究費
手術成績予測法を用いた外科治療質改善システムの開発	二村 雄次	腫瘍外科	5,500,000	補委	厚生労働科学研究費

医療チューブ類事故防止対策に関する学際的探索研究	山内 豊明	保健学科	3,000,000	補委	厚生労働科学研究費
不妊に悩む男女の実際に関する調査研究	岩瀬 明	産婦人科	5,307,000	補委	愛知県
再発乳癌を対象としたハーセプチン固定化マグネトリポソームと交番磁場照射装置を用いた温熱免疫療法の第1相臨床試験	今井 常夫	乳腺・内分泌外科	16,300,000	補委	文部科学省
高齢者包括的・全人的医療に関わる標準的医療システムの開発に関する研究	梅垣 宏行	老年科	1,300,000	補委	国立長寿医療センター
実験動物実験モデルを用いたVEGF-Eによる血管新生研究	室原 豊明	循環器内科	6,000,000	補委	独立行政法人医薬基盤研究所
変異チロシンキナーゼを標的とした白血病治療薬の開発	直江 知樹	血液内科	80,000,000	補委	独立行政法人医薬基盤研究所
BMP付加細胞外マトリックスを用いた新たな骨再生法	上田 実	歯科口腔外科	12,000,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
心臓血管外科手術周術期における輸血療法の効率化、適正化に関する研究	上田 裕一	心臓外科	2,000,000	補委	国立循環器病センター
臍帯血由来前駆細胞を用いた、血管再生に関する研究	室原豊明	循環器内科	2,500,000	補委	国立循環器病センター
水・イオン輸送障害による代謝性疾患の病態解明及び薬物療法の開発	成瀬達	消化器内科	1,000,000	補委	国立成育医療センター
認知症高齢者の住宅サービスの質の尺度としてのアウトカム指標の開発	道勇 学	神経内科	1,500,000	補委	国立長寿医療センター
タンパク質高次構造形成と機能発現(白血病にかかわるヌクレオソミンの構造と機能に関する研究)	直江 知樹	血液内科	4,000,000	補委	文部科学省

計 12

合計 89

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Genes Chromosomes Cancer.	Genomewide array-based comparative genomic hybridization analysis of acute promyelocytic leukemia.	Naoe T	血液内科
Methods Mol Med.	FLT3 mutations in acute myeloid leukemia.	Naoe T	血液内科
Leuk Res.	PTPN11, RAS and FLT3 mutations in childhood acute lymphoblastic leukemia.	Naoe T	血液内科
Biol Pharm Bull.	let-7 microRNA functions as a potential growth suppressor in human colon cancer cells.	Naoe T	血液内科
Cancer.	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation as part of postremission therapy improves survival for adult patients with high-risk acute lymphoblastic leukemia: a metaanalysis.	Naoe T	血液内科
Biochem Biophys Res Commun.	Histone deacetylase 3 (HDAC3) is recruited to target promoters by PML-RARalpha as a component of the N-CoR co-repressor complex to repress transcription in vivo.	Naoe T	血液内科
Cancer Sci.	Sustained activation of c-jun-N-terminal kinase plays a critical role in arsenic trioxide-induced cell apoptosis in multiple myeloma cell lines.	Naoe T	血液内科
Int J Hematol.	Biology, clinical relevance, and molecularly targeted therapy in acute leukemia with FLT3 mutation.	Naoe T	血液内科
Int J Hematol.	Loss of O6-methylguanine-DNA methyltransferase protein expression is a favorable prognostic marker in diffuse large B-cell lymphoma.	Naoe T	血液内科
Int J Hematol.	Stable engraftment after a conditioning regimen with fludarabine and melphalan for bone marrow transplantation from an unrelated donor.	Naoe T	血液内科
Int J Hematol.	High titer of ADAMTS13 inhibitor associated with thrombotic microangiopathy of the gut and skeletal muscle after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Naoe T	血液内科
Cancer Genet Cytogenet.	Establishment of a myeloid leukemia cell line, TRL-01, with MLL-ENL fusion gene.	Naoe T	血液内科
Oncol Rep.	MicroRNAs 143 and 145 are possible common onco-microRNAs in human cancers.	Naoe T	血液内科
Int J Hematol.	Promoter hypermethylation of the DNA-repair gene O6-methylguanine-DNA methyltransferase and p53 mutation in diffuse large B-cell lymphoma.	Naoe T	血液内科
Leuk Lymphoma.	Imatinib combined chemotherapy for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia: major challenges in current practice.	Naoe T	血液内科
Curr Pharm Biotechnol.	Developing target therapy against oncogenic tyrosine kinase in myeloid malignancies.	Naoe T	血液内科
Haematologica.	Increased oxidative DNA products in patients with acute promyelocytic leukemia during arsenic therapy.	Naoe T	血液内科
Int J Hematol.	Establishment of a stroma-dependent human acute myelomonocytic leukemia cell line, NAMO-2, with FLT3 tandem duplication.	Naoe T	血液内科
Leuk Res.	Clinical features and outcome of T-lineage acute lymphoblastic leukemia in adults: a low initial white blood cell count, as well as a high count predict decreased survival rates.	Naoe T	血液内科
Eur J Haematol.	Severe hemorrhagic complications during remission induction therapy for acute promyelocytic leukemia: incidence, risk factors, and influence on outcome.	Naoe T	血液内科
日本腎臓学会誌	日本における慢性腎臓病 (CKD) 対策の課題 日本慢性腎臓病対策協議会 Japan Association of Chronic Kidney Disease Initiative (J-CKDI) について	松尾清一	腎臓内科
日本腎臓学会誌	日本とアジアにおける慢性腎臓病 (CKD) 対策の重要性	松尾清一	腎臓内科
臨床体液	先天性に低Mg・低Ca血症をきたした1症例	林宏樹	腎臓内科
American journal of Pathology	Growth factor midkine is involved in the pathogenesis of diabetic nephropathy.	小杉智規	腎臓内科
Journal of the American Society of Nephrology	Comparison of percutaneous coronary intervention with medication in the treatment of coronary artery disease in hemodialysis patients.	安田 香	腎臓内科
Clinical and experimental nephrology	Gene expression profiling analysis in nephrology: towards molecular definition of renal disease.	安田宣成	腎臓内科
Oncogene	v-Src requires Ras signaling for the suppression of gap junctional intercellular communication.	伊藤聡子	腎臓内科
Current medicinal chemistry	A review of current knowledge of the complement system and the therapeutic opportunities in inflammatory arthritis.	水野正司	腎臓内科
Clinical and experimental nephrology	Complement membrane attack is required for endplate damage and clinical disease in experimental myasthenia gravis in Lewis rats.	水野正司	腎臓内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical and experimental nephrology	The membrane attack pathway of complement drives pathology in experimental autoimmune myasthenia gravis in mice.	水野正司	腎臓内科
Clinical and experimental nephrology	Bone marrow transplant nephropathy successfully treated with angiotensin-converting enzyme inhibitor.	水野正司	腎臓内科
Diabetes	Modular activation of nuclear factor-kappaB transcriptional programs in human diabetic nephropathy.	安田宣成	腎臓内科
International journal of Urology	Effects of olprinone, a phosphodiesterase III inhibitor, on ischemic acute renal failure.	シャブーク・アナス	泌尿器科
Xenotransplantation	Relation between human decay-accelerating factor (hDAF) expression in pig cells and inhibition of human serum anti-pig cytotoxicity: value of highly expressed hDAF for xenotransplantation	丸山彰一	腎臓内科
Clinical and experimental nephrology	Estimation of glomerular filtration rate by the MDRD study equation modified for Japanese patients with chronic kidney disease.	松尾清一	腎臓内科
Clinical therapeutics	Efficacy of oral nicorandil in patients with end-stage renal disease: a retrospective chart review after coronary angioplasty in Japanese patients receiving hemodialysis.	松尾清一	腎臓内科
Surgery Today 2006;36:19-24	A new method of thermo-chemotherapy using a stent for patients with esophageal cancer	Akiyama S	消化器外科学
World Journal of Surgery 2006;30: 976-982	Indication and techniques of extended resection for pancreatic cancer	Nakao A	消化器外科学
Annals of Surgical Oncology 2006;13:1078-1084	Pilot study of oncolytic viral therapy using mutant herpes simplex virus (HF10) against recurrent metastatic breast cancer	Kimata H	消化器外科学
International Journal of Clinical Oncology 2006;11(6):449-453	In vitro chemosensitivity test to predict chemosensitivity for paclitaxel using human gastric carcinoma tissue	Kodera Y	消化器外科学
Current Cancer Drug Targets 2007;7(2): 169-174	Clinical experiment of mutant herpes simplex virus HF10 therapy for cancer	Nakao A	消化器外科学
Current Cancer Drug Targets 2007;7(2): 123-125	Oncolytic virus therapy - foreword	Kasuya H	消化器外科学
Cancer Letters 2007;252:307-313	Gene expression of 5-fluorouracil metabolic enzymes in primary gastric cancer: correlation with drug sensitivity against 5-fluorouracil	Kodera Y	消化器外科学
Hepatogastroenterology 2007;54(76):1038-1042	Enhanced efficacy of herpes simplex virus mutant HF10 combined with paclitaxel in peritoneal cancer dissemination models	Shimoyama S	消化器外科学
現代医学	名古屋大学医学部附属病院における乳癌センチネルリンパ節生検のFeasibility study	澤木正孝	乳腺・内分泌外科
Biochem Biophys Res Commun	Midkine as a molecular target: Comparison of effects of chondroitin sulfate E and siRNA	山本英樹	整形外科
J Orthop Sci	Prediction of acetabular development after closed reduction by overhead traction in developmental dysplasia of the hip	鬼頭浩史	整形外科
Osteoporos Int	ALDH2 polymorphisms and bone mineral density in an elderly Japanese population	山口仁	整形外科
Clin Orthop	Clavicle pro humero reconstruction after wide resection of the proximal humerus	筑紫聡	整形外科
J Orthop Sci	Increasing postural sway in rural-community-dwelling elderly persons with knee osteoarthritis	増井徹男	整形外科
Knee	Persistent popliteal pain derived from cavernous hemangioma involving gracilis tendon and tendon sheath	西田佳弘	整形外科
J Spinal Disord Tech	Comparison of surgical outcomes between macro discectomy and micro discectomy for lumbar disc herniation: a prospective randomized study with surgery performed by the same spine surgeon	片山良仁	整形外科
J Neurosurg Spine	Recurrence of hypertrophic spinal pachymeningitis. Report of two cases and review of the literature	伊藤全哉	整形外科
Bone	Transplantation of culture expanded bone marrow cells and platelet rich plasma in distraction osteogenesis of the long bones	鬼頭浩史	整形外科
J Orthop Res	Expression of interleukin-1beta, cyclooxygenase-2, and prostaglandin E2 in a rotator cuff tear in rabbits	幸島寛	整形外科
J Neurosurg	Cyclooxygenase-2 expression in ependymoma of the spinal cord	成瀬隆裕	整形外科
Bone	Parathyroid hormone activates phosphoinositide 3-kinase-Akt-Bad cascade in osteoblast-like cells	山本拓也	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hand Surg[Br]	Locking of the metacarpophalangeal joint of the thumb caused by a fracture fragment of the radial condyle of the metacarpal head after dorsal dislocation.	HIRATA Hitoshi	手の外科
Hand Surg	Limited wrist arthrodesis versus radial osteotomy for advanced Kienbock's disease—for a fragmented lunate.	TATEBE Masahiro	手の外科
Arthroscopy	Arthroscopic mobilization for contracture of the wrist.	HATTORI Tatsuya	手の外科
Muscle Nerve	Fibroblast growth factor-2 enhances functional recovery of reinnervated muscle.	IWATA Yoshihisa	手の外科
J Shoulder Elbow Surg	Chronically ruptured triceps tendon with avulsion of the medial collateral ligament: a report of 2 cases.	TATEBE Masahiro	手の外科
日本手の外科学会雑誌	Kienboeck病に対する橈骨骨切り術の成績 月状骨分節部位による検討	建部特広	手の外科
日本手の外科学会雑誌	還位橈尺関節の関節鏡の経験	IWATA Yoshihisa	手の外科
日本手の外科学会雑誌	陈旧性月状骨周囲脱臼の治療成績	篠原孝明	手の外科
日本手の外科学会雑誌	手指屈筋腱損傷治療後発生した慢性進行性PIP関節屈曲拘縮の検討	服部達哉	手の外科
日本手の外科学会雑誌	除神経筋再生に対するFGF-2投与効果	岩田佳久	手の外科
日本手の外科学会雑誌	舟状骨骨折における応力分布の変化 三次元剛体パネモデルを用いて	松木浩	手の外科
日本手の外科学会雑誌	手関節背屈位での応力解析	馬島雅高	手の外科
末梢神経	神経再生 シュワン細胞移植或いは成長因子投与によるNerve to muscle neurotization法後の筋再生促進	平田仁	手の外科
Schizophr Res	The 2',3'-cyclic nucleotide 3'-phosphodiesterase and oligodendrocyte lineage transcription factor 2 genes do not appear to be associated with schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Ann N Y Acad Sci	Association Study of the Dihydropyrimidinase-Related Protein 2 Gene and Methamphetamine Psychosis.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Schizophr Res	Association between chromogranin A gene polymorphism and schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Psychiatr Genet	An association study between catechol-O-methyl transferase gene polymorphism and methamphetamine psychotic disorder.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Psychiatry Res	Association study of polymorphisms in the GluR7, KA1 and KA2 kainate receptor genes (GRIK3, GRIK4, GRIK5) with schizophrenia.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Neurosci Lett	Genetic variant of prodynorphin gene is risk factor for methamphetamine dependence.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Ann N Y Acad Sci	Association Study of the Tumor Necrosis Factor- α Gene and Its 1A Receptor Gene with Methamphetamine Dependence.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Intern Med	Factors contributing to sleep disturbance and hypnotic drug use in hemodialysis patients.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Hum Genet	Association analysis of SOD2 variants with methamphetamine psychosis in Japanese and Taiwanese populations.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Mod Rheumatol	Disability and patient's appraisal of general health contribute to depressed mood in rheumatoid arthritis in a large clinical study in Japan.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Ann N Y Acad Sci	No Association between CART (Cocaine- and Amphetamine-Regulated Transcript) Gene and Methamphetamine Dependence.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Psychiatr Genet	Lithium response and Val66Met polymorphism of the brain-derived neurotrophic factor gene in Japanese patients with bipolar disorder.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Association analysis of delta-opioid receptor gene polymorphisms in methamphetamine dependence/psychosis.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Schizophr Res	No association of complexin1 and complexin2 genes with schizophrenia in a Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Ther Apher Dial	Diagnosis and treatment of depression in dialysis patients.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Int J Neuropsychopharmacol	Positive association of AKT1 haplotype to Japanese methamphetamine use disorder.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
J Neural Transm	No association of serotonin transporter gene (SLC6A4) with schizophrenia and bipolar disorder in Japanese patients: association analysis based on linkage disequilibrium.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Neuropsychopharmacology	Positive association of the serotonin 5-HT7 receptor gene with schizophrenia in a Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Res	Volume of left amygdala subregion predicted temperamental trait of harm avoidance in female young subjects. A voxel-based morphometry study.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Pharmacogenomics J	Linkage disequilibrium and association with methamphetamine dependence/psychosis of mu-opioid receptor gene polymorphisms.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Hum Mol Genet	Impact of the DISC1 Ser704Cys polymorphism on risk for major depression, brain morphology and ERK signaling.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Neurosci Lett	Regional brain cerebral glucose metabolism and temperament: a positron emission tomography study.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Genes Brain Behav	Association study between kynurenine 3-monooxygenase gene and schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Alcohol Clin Exp Res	Association between gene polymorphisms of SLC22A3 and methamphetamine use disorder.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Possible role of preproghrelin gene polymorphisms in susceptibility to bulimia nervosa.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
日本皮膚科学会雑誌 116:1605-1608, 2006	男性尿道原発の悪性黒色腫の1例	廣田真弓実	皮膚科
Urology	Laparoscopic nephroureterectomy for transitional cell carcinoma of renal pelvis and ureter: Nagoya experience	Ryohei Hattori	泌尿器科
排尿障害プラクティス Urology View	国際尿失禁会議からの報告: 症状・QOL (生活の質) 評価 高齢者医療における泌尿器科医の役割	後藤百万	泌尿器科
Urology View	高齢者の過活動膀胱の治療: どのような治療方針がQOLの改善に結びつくのか	後藤百万	泌尿器科
Urology View	Virtual reality によるトレーニングと技術評価	服部良平	泌尿器科
腎移植・血管外科	血管吻合、止血のための血管縫合	服部良平	泌尿器科
Int J Med Robot.	Autonomous catheter insertion system using magnetic motion capture sensor for endovascular surgery.	Yamamoto T	泌尿器科
Int J Urol.	Effects of Olprinone, a phosphodiesterase III inhibitor, on Ischemic Acute Renal Failure	Yamamoto T	泌尿器科
J Pharmacol Exp Ther.	Effects of calcium channel blockade on angiotensin II-induced peritubular ischemia in rats.	Yamamoto T	泌尿器科
Radiat Med	Influence of liquid crystal display monitors on observer performance for detection of diffuse pulmonary disease on chest radiographs.	FUKUSHIMA H	放射線科
Nagoya J Med Sci	Measurement and evaluation of the acoustic noise of a 3 Tesla MR scanner.	HATTORI Y	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phy	Risk factors for neovascular glaucoma after carbon ion radiotherapy of choroidal melanoma using dose-volume histogram analysis.	HIRASAWA N	放射線科
Nagoya J Med Sci	Application of subsecond rotation scan to helical CT for lung cancer screening.	MORI Y	放射線科
Eur J Radiol	Prostate cancer detection with 3-T MRI: comparison of diffusion-weighted and T2-weighted imaging.	MIAO H	放射線科
Laryngoscope	Visualization of endolymphatic hydrops in patients with Meniere's disease.	NAKASHIMA T	放射線科
Epilepsy Res	Micturition induced seizures: Ictal EEG and subtraction ictal SPECT findings.	OKUMURA A	放射線科
Nagoya J. Med Sci	Influence of Monitor Luminance and Room Illumination on Soft-Copy Reading Evaluation with Electronically Generated Contrast-Detail Phantom: Comparison of Cathode-Ray Tube Monitor with Liquid Crystal Display.	MURAMOTO H	放射線科
Nagoya J Med Sci	Evaluation of new image processing conditions for digital mammograms from Fuji computed radiography.	KANO H	放射線科
Eur Radiol	Diagnostic value of curved multiplanar reformatted images in multislice CT for the detection of resectable pancreatic ductal adenocarcinoma.	FUKUSHIMA H	放射線科
AJR Am J Roentgenol	The effect of patient age on contrast enhancement during CT of the pancreatobiliary region.	ITOH S	放射線科
Nagoya J. Med. Sci	Intra- and Interobserver Agreement and Performance Score of Breast Phantom Image Interpretation: Influence of Ambient Room Lighting Levels.	KOYAMA K	放射線科
AJNR Am J Neuroradio	Parry-Romberg Syndrome with a Clinically Silent White Matter Lesion.	OKUMURA A	放射線科
Otol Neurotol	Lateral semicircular canal and vertigo in patients with large vestibular aqueduct syndrome.	ISHIDA Maria I	放射線科
AJR Am J Roentgenol	Assessment of anomalous pancreaticobiliary ductal junction with high-resolution multiplanar reformatted images in MDCT.	ITOH S	放射線科
Laryngoscope	Three-dimensional fluid-attenuated inversion recovery magnetic resonance imaging findings in patients with sudden sensorineural hearing loss.	SUGIURA M	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gynecol Oncol	Intraarterial cisplatin/nedaplatin and intravenous 5-fluorouracil with concurrent radiation therapy for patients with high-risk uterine cervical cancer.	KAWASE S	放射線科
Radiat Med	Retrospective analysis: concurrent chemoradiotherapy using protracted continuous infusion of low-dose cisplatin and 5-fluorouracil for T2N0 glottic cancer	ITO H Y	放射線科
Nagoya J. Med. Sci	Elective Neck Irradiation on Ipsilateral Side in Patients with Early Tongue Cancer for High-Risk Group with Late Cervical Lymph Node Metastasis.	ITO H Y	放射線科
Nuclear Instruments and Methods in Physics Research	A simulation of portable PET with a new geometric image reconstruction method.	KAWATSU S	放射線科
Laryngoscope	Inner ear hemorrhage in systemic lupus erythematosus.	SUGIURA M	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Risk factors of late rectal bleeding after carbon ion therapy for prostate cancer.	ISHIKAWA H	放射線科
Radiation Medicine	Results of Primary Central Nervous System Lymphoma Treated by Radiation and Chemotherapy :Retrospective Analysis of Twelve Institutions in the Tokai District of Japan, 1995-1999.	KAWAMURA T	放射線科
Clin Otolaryngol	Blood flow to the promontory in cochlear otosclerosis.	NAKASHIMA T	放射線科
J Laryngol Otol	Visualization of a high protein concentration in the cochlea of a patient with a large endolymphatic duct and sac, using three-dimensional fluid-attenuated inversion recovery magnetic resonance imaging.	SUGIURA M	放射線科
Eur J Radiol	Prostate cancer detection with 3-T MRI: comparison of diffusion-weighted and T2-weighted imaging.	MIAO H	放射線科
Abdom Imaging	CT depiction of small arteries in the pancreatic head: assessment using coronal reformatted images with 16-channel multislice CT.	ISHIGAKI S	放射線科
Eur Radiol	Relationship between CT densitometry with a slice of 0.5mm and audiometry in otosclerosis.	SETSUKO K	放射線科
Nuclear Instruments and Methods in Physics Research A	A new image reconstruction method for 3-D PET based upon paris of near-missing lines of response.	SHOUJI K	放射線科
J Neurol Neurosurg Psychiat	Usefulness of combined fractional anisotropy and apparent diffusion coefficient values for detection of involvement in multiple system atrophy.	ITO M	放射線科
Eur Radiol	The influence of liquid crystal display(LCD) monitors on observer performance for the detection of nodular lesions on chest radiographs.	USAMI H	放射線科
INNERVISION月刊インナービジョン247号付録	D-SPACEの臨床応用 さまざまなコントラストのisotropic data撮像 Special Report	長縄慎二	放射線科
医療機器システム白書	臨床に及ぼす画像診断機器の有用性	石垣武男	放射線科
新医療	臨床での効果が大きい3D画像診断 画像診断機器の進歩でもたらされた3D画像の有用性	長縄慎二	放射線科
新医療	新様にモダリティを集約し検査の効率化を図る	長縄慎二	放射線科
新医療	総論CTがもたらした診療・経営への効果	長縄慎二	放射線科
新医療	総論CTがもたらした診療・経営への効果 「64スライスCTの普及がもたらす画像診断の進歩と機器運用の変化」	長縄慎二	放射線科
臨床画像	マルチスライスCT診断	伊藤茂樹	放射線科
Radiology Frontier	頭部MRIの最新情報 (Brain MRI update)	長縄慎二	放射線科
MS/Japan medical society	超高磁場MRIシステムの現状と将来	長縄慎二	放射線科
Digital Medicine	RVS (Real-time Virtual Sonography)技術の乳腺領域への臨床応用	佐竹弘子	放射線科
J Thorac Oncol.	Multidisciplinary treatment for advanced invasive thymoma with cisplatin, doxorubicin, and methylprednisolone.	横井香平	呼吸器外科
Cancer Sci.	Establishment and characterization of four malignant pleural mesothelioma cell lines from Japanese patients.	宇佐美範恭	呼吸器外科
Cancer Sci.	Genomic profiling of malignant pleural mesothelioma with array-based comparative genomic hybridization shows frequent non-random chromosomal alteration regions including JUN amplification on 1p32.	谷口哲郎	呼吸器外科
Int J Cancer.	RhoB is frequently downregulated in non-small-cell lung cancer and resides in the 2p24 homozygous deletion region of a lung cancer cell line.	佐藤尚他	呼吸器外科
Ann Plast Surg	Donor side selection in mandibular reconstruction using a free fibula osteocutaneous flap.	Shunjiro Yagi,	形成外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol.	Establishment of a stroma-dependent human acute myelomonocytic leukemia cell line, NAMO-2, with FLT3 tandem duplication	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Leukemia	JAK3 mutations occur in acute megakaryoblastic leukemia both in Down syndrome children and non-Down syndrome adults	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Leukemia	Lyn is an important component of the signal transduction pathway specific to FLT3/ITD and can be a therapeutic target in the treatment of AML with FLT3/ITD	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Leuk Res	Clinical features and outcome of T-lineage acute lymphoblastic leukemia in adults: a low initial white blood cell count, as well as a high count predict decreased survival rates	Yanada Masamitsu	難治感染症部
Leukemia	Homing, proliferation and survival sites of human leukemia cells in vivo in immunodeficient mice	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Cancer Sci	Nucleophosmin: a versatile molecule associated with hematological malignancies	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Cancer Genet Cytogenet	Establishment of a myeloid leukemia cell line, TRL-01, with MLL-ENL fusion gene	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Eur J Haematol	Disseminated intravascular coagulation in acute leukemia: clinical and laboratory features at presentation	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Int J Hematol	Biology, clinical relevance, and molecularly targeted therapy in acute leukemia with FLT3 mutations	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Biochem Biophys Res Commun	Histone deacetylase 3 (HDAC3) is recruited to target promoters by PML-RARalpha as a component of the N-CoR co-repressor complex to repress transcription in vivo	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Intern Med	Micafungin, a novel antifungal agent, as empirical therapy in acute leukemia patients with febrile neutropenia	Yanada Masamitsu	難治感染症部
Leukemia	Mutations of N-RAS, FLT3 and p53 genes are not involved in the development of acute leukemia transformed from myeloproliferative diseases with JAK2 mutation	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Leuk Res	PTPN11, RAS and FLT3 mutations in childhood acute lymphoblastic leukemia	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Methods Mol Med	FLT3 mutations in acute myeloid leukemia	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Genes Chromosomes Cancer	Genomewide array-based comparative genomic hybridization analysis of acute promyelocytic leukemia	Kiyoi Hitoshi	難治感染症部
Leuk Lymphoma	Imatinib combined chemotherapy for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia: major challenges in current practice	Yanada Masamitsu	難治感染症部
Cancer	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation as part of postremission therapy improves survival for adult patients with high-risk acute lymphoblastic leukemia: a metaanalysis	Yanada Masamitsu	難治感染症部
J Clin Oncol	High complete remission rate and promising outcome by combination of imatinib and chemotherapy for newly diagnosed BCR-ABL-positive acute lymphoblastic leukemia: a phase II study by the Japan Adult Leukemia Study Group	Yanada Masamitsu	難治感染症部
Jpn J Infect	Two cases of sucrose-fermenting Vibrio vulnificus in which 16S rDNA sequencing was useful for diagnosis	Baba Hisashi	難治感染症部
Int. J. Antimicrob. Agents	Implementation and evaluation of a once daily amikacin dosing protocol in a long-term care facility.	Yoshida, M	薬剤部
Jpn. J. Pharm. Health Care Sci	Evaluation of "Bronchial Asthma Pharmaceutical Care Clinic for Outpatients" run by pharmacists at Nagoya University Hospital.	Hasegawa, M	薬剤部
J. Pharmacol. Sci	Skin tests of a novel nicotine patch, PHK-301p, in healthy male volunteers: Phase I, Placebo-controlled study	Irie, S	薬剤部
J. Nutr. Sci. Vitaminol	Recovery and maintenance of copper levels in geriatric patients on enteral feeding for a prolonged period	Ito, Y.	薬剤部
医療薬学	婦人科がん化学療法による嘔気・嘔吐に対する dexamethasone の効果	手塚智子	薬剤部
医療薬学	透析患者のシャント穿刺の痛みに対する局所麻酔法としてのリドカインの iontophoresis 投与の有用性の検討	桐山典子	薬剤部
臨床精神薬理	抗精神病薬とメタボリックシンドローム治療薬の相互作用について	辻美江	薬剤部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医療薬学	難治性悪性神経膠腫の治療戦略	石川和宏	薬剤部

計 1 件
合計 178 件

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松尾清一		
管理担当者氏名	薬剤部長	山田清文	医療の質・安全管理部長 後藤百万
	総務課長	伊藤健一	医事課長 大岩淳一
	学務課長	中村 平	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		中央管理	疾病分類 ICD-10 管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで中央管理 (一部紙媒体にて保存)
処方せん 病院日誌		薬剤部 総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	学務課	
	閲覧実績	総務課・医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療の質・安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 野間省二
閲覧担当者氏名	総務課長 伊藤健一 医事課長 大岩淳一 学務課長 中村 平
閲覧の求めに応じる場所	医療の質・安全管理部 (中央診療棟 4階) 総務課 (中央診療棟 7階) 医事課 (外来診療棟 1階) 学務課 (中央診療棟 1階)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.9%	算定期間	平成19年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	15,090人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,928人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	654人	
	D: 初診の患者の数	31,560人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3 名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (1 6) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： インシデント・医療事故情報の収集・スクリーニング及び事実関係の調査に関する事： インシデント・医療事故の分析について中心的役割を果たし、根本原因を究明する事： 医療事故発生時の現場の記録、関係者間の調整に関する事： 医療安全と医療の質向上について調査・研究を行い、病院全体のシステム改善のための提言を行う事： 医療安全と医療の質向上に係る教育研修に関する事： 医療の質向上と安全推進委員会その他医療の質・安全管理関連の会議で用いられる資料及び議事録の作成・保存に並びに会議の庶務に関する事： その他医療の質向上と安全推進に関する事	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： 医療安全管理に対する基本的な考え方： 医療事故防止に対する基本的な姿勢と組織体制： 医療の安全に関する職員計画： 医療事故の定義と医療事故発生時の報告・対応指針： 指針の閲覧に関する基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 8 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： 医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項： 医療上の紛争処理に関する事項： 医療の質向上に関する事項	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 5 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： 全職員を対象とした医療安全研修「報告から何を学ぶかー警鐘事象とはー」「抗癌剤取扱の注意点」「予想外の医療経過が生じたら・・・」「インフォームドコンセントについて」などの講演等を実施： 新規・中途採用者職員について採用時に「病院の理念」「インシデント報告システム」等の医療安全研修を実施： 全職員を対象に転倒転落専門分野学習会を実施	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： 緊急時血液ガス分析装置設置： 頸部術後管理ガイドライン作成	